

「湖池屋ポテトチップス」新 TVCM 永尾柚乃さん、平泉成さんが初共演！

孫娘と祖父が縁側に仲良く腰掛けて 「ポテトチップス」を食べるほのぼのとしたシーンに注目 「思いやり」篇、「じいじと孫」篇を9月7日（土）から放映開始 ～メイキングインタビューでは永尾柚乃さんが平泉成さんに人生相談!?!～



「じいじと孫」篇

株式会社湖池屋（社長：佐藤章）は、「湖池屋ポテトチップス」の新 TVCMとして、「思いやり」篇（15秒／30秒）と「じいじと孫」篇（15秒／30秒）を、9月7日（土）から全国（一部地域を除く）で順次オンエアします。

1962年の発売以来、半世紀以上にわたって愛され続ける「湖池屋ポテトチップス」。人気子役の永尾柚乃さんを起用した昨年のCMでは、歌手のMISIAさんが書き下ろしたテーマソング「愛をありがとう」が流れる中、1960年代から現代へとつながる家族4世代の物語をポテトチップスの思い出とともにお届けし、大変多くの皆様に共感をいただきました。

今回の新 TVCM「思いやり」篇は、街でポテトチップスをきっかけに会話が弾むおばあちゃんと男子学生の交流を描いたほっこりする物語。

それに続く「じいじと孫」篇では、祖父・じいじ役に平泉成さん、孫役として永尾柚乃さんが登場します。平泉成さんと永尾柚乃さんは初共演です。孫娘が大好きなポテトチップスを用意して、一緒に食べることを楽しみにしている平泉成さんと、じいじの隣でおいしそうに食べる永尾柚乃さんのほのぼのとした掛け合いを、MISIAさんが歌うテーマソング「愛をありがとう」のメロディーに乗せて印象的に表現しました。

実は「思いやり」篇のおばあちゃんは永尾柚乃さんの祖母で、彼女が買ってきたポテトチップスを平泉成さんと永尾柚乃さんが食べる「じいじと孫」篇へとつながっています。

“人生、泣いたり笑ったり。ささやかだけどこの1袋で幸せを感じる”——そんな日常を「今日も湖池屋。」というメッセージに込めて描いた新CMにご期待ください。

新 TVCM ストーリー

「思いやり」篇 (30 秒)

孫のためにポテトチップスを買に行った帰り道、偶然出会った男子学生（嘉島陸さん）に横断歩道を渡る手助けをもらったおばあちゃん（小池澄子さん）。その一部始終を、同じ交差点にいた大学の友人（和内璃乃さん）が見つめています。おばあちゃんがお礼に「これもらって」とポテトチップスを差し出し、最初、嘉島さんは遠慮しますが、「孫が大好きなの」と伝え、「僕も好きです」と受け取り、笑顔を見せます。

大学キャンパスのカフェテリアで、ポテトチップスを友人たちと食べている嘉島陸さんと和内璃乃さん。ふと隣に座る嘉島さんのことが気になって、彼に視線を向ける和内さんの様子はおもひかして……。ポテトチップスがつかない二人の恋の行方（？）が気になります。



「じいじと孫」篇 (30 秒)

今日は孫娘（永尾柚乃さん）が遊びに来る日。祖父・じいじ（平泉成さん）が永尾柚乃さんの写真を見ていると、妻（小池澄子さん）が買い物から帰ってきて、ポテトチップスを取り出します。「柚乃が喜ぶな」と受け取った後、しばらく部屋でくつろいでいると、縁側から「じーじ」という永尾柚乃さんの声が。平泉成さんの元へ駆け寄る永尾柚乃さんを、一緒に来た母親（藤澤恵麻さん）が見守っています。

縁側に仲良く腰掛けて、永尾柚乃さんにポテトチップスの袋を差し出す平泉成さん。永尾柚乃さんが一枚取って、「ありがとう。じいじもどうぞ」と言うと、平泉成さんも「ありがとう」とニコニコしながらポテトチップスを食べます。そんな二人の様子を、食事の支度をしながら見守る小池澄子さんと藤澤恵麻さん。幸せそうな平泉成さんと永尾柚乃さんのツーショットに、「今日も湖池屋。」というタイトルが重なります。

撮影エピソード

◇初々しい大学生カップルのお芝居にほっこり

「思いやり」篇のカフェテリアのシーンは、おばあちゃんからもらったポテトチップスをきっかけに、何やら恋が芽生えそうな初々しい大学生カップルを、若手俳優の嘉島陸さん、和内璃乃さんが演じました。嘉島さんは今回が初めての CM 撮影ながら、おばあちゃん役の小池澄子さんをはじめ、友人役のエキストラやスタッフの皆さんとも気さくに言葉を交わし、現場の和気あいあいとしたムードを演出。一方の和内さんも、昨年の「姉妹」篇で演じたお姉さん役に続いて、湖池屋の CM 出演は 2 度目ということで、少しずつ嘉島さんのことが気になり始めている女子学生役を好演し、すてきな笑顔で周囲を明るくしていました。そんな二人の見せ場は、みんなでポテトチップスを食べている最中、お互いに意味ありげなまなざしを送る場面です。嘉島陸さん、和内璃乃さんともに「どこで視線が合うのかドキドキしていました」と語っていた、ほほ笑ましいシーンにご注目ください。

◇1 年ぶりに湖池屋ポテトチップスの CM 撮影に臨む永尾柚乃さん

撮影前、「いっぱい食べて、（顔の）いろんなどころにのり塩をつけたいと思います」「頑張ります！」とかわいらしく意気込みを語った永尾柚乃さん。共演者やスタッフの皆さんに「よろしく願います」と両手を膝の前に重ねて深々とお辞儀すると、「1 年ぶりに会って、背が伸びたね」という監督のことばに、ニコニコしながら「大きくなりました！」と応じて、早くも現場の空気をほっこりさせていました。

◇思わず笑みがこぼれる“じいじと孫娘”の掛け合い

初共演ながらすぐに打ち解けて、二人にしか出せない独特の間や温度感をつくり出していた平泉成さんと永尾柚乃さん。部屋に入ってくるやいなや、あぐらをかいた平泉成さんの前に永尾柚乃さんがちょこんと座るシーンでは、ファーストテイクから「成さんのそんな笑顔、見たことありません（笑）」と旧知の監督も驚くナチュラルなお芝居を披露すると、その後も息ぴったりの掛け合いで OK テイクを連発していました。休憩中は縁側に仲良く腰掛けて談笑し、ポテトチップスを使った振り付けと一緒に踊ると、今度は平泉成さんがポテトチップスを 2 枚くわえてアヒル口を作り、永尾柚乃さんにアピール。じいじと孫の幸せな光景を目の当たりにして、スタッフの皆さんの目尻も下がりっぱなしでした。

◇芸歴 60 年の平泉成さんが永尾柚乃さんに弟子入りを志願!?

全てのシーンを撮り終えた後、「皆さん、ありがとうございました」「私はポテトチップスが大好きなので、これからも毎日毎日食べたいです」と締めあいさつを行った永尾柚乃さん。隣でそのコメントを聞いていた平泉成さんが、「どうしたらこんなふうにならるんだらうね。弟子になって、ずっと柚乃ちゃんに付いて勉強させていただこうかしら」と、まさかの弟子入りを志願（？）すると、現場のあちこちから楽しそうな笑い声が聞こえてきました。さらに、永尾柚乃さんはスタッフの皆さん一人一人に「ありがとうございました」とあいさつ回りをし、小さなカードを手渡し。そこには「めっちゃありがとう ゆの」という手書きのメッセージと永尾柚乃さんの似顔絵が描かれていて、誰もが終始永尾柚乃さんの言動に癒やされまくりだった一日が幕を閉じました。

◇平泉成さんの主演映画も手掛けた 30 年来の仲の秋山純監督が演出を担当

本 CM の演出を手掛けたのは、平泉成さんの主演映画「明日を綴る写真館」の監督も務めた秋山純監督です。実は、ご自身のドラマ監督デビュー作を皮切りに、平泉さんとは 30 年近く交流があり、「じいじと孫」篇の撮影前日も電話をしながら、セリフや音楽、初共演の永尾柚乃さんについてやりとりしたのだとか。そんな監督が「事前にイメージを膨らませた上で、本番は一つのイメージに固執せず、現場の空気感を大事にしていく方」「行間を作り出す天才」と絶大な信頼を寄せる平泉成さん。今回のお芝居も「成さんの繊細なアプローチで、じいじと孫の穏やかで温かな空気感が生み出せたと思います」と絶賛していました。

◇CM の幸せな世界観を引き立てるこだわりのロケーションと美術装飾

「じいじと孫」篇の舞台の一軒家は、ロケハンで探した昔ながらの日本家屋で、孫が来るのを楽しみに待っているじいじの家を、制作チームが一丸となって作り込みました。屋内の装飾を手掛けたのは、日本を代表する美術監督の部谷京子さん。家族のスナップ写真や、孫が作った切り絵を貼ったふすまなどを用意して、一瞬映像に映り込んだだけでも、平泉成さんたち家族の愛情が伝わってくるような臨場感ある演出をしたほか、画面に映らない部分の装飾にも細やかに気を配ることで、CM の温かい空気感が生み出されました。

嘉島陸さん、和内璃乃さんインタビュー

——撮影の感想や見どころをお聞かせください。

【嘉島さん】：横断歩道のシーンを撮影した時、心が温かくなりました。今はなかなか人に声をかけにくく、誰かをフォローすることに躊躇してしまうこともあると思うので、見た人がホッとするような CM になったんじゃないかなと思います。

【和内さん】：前回私が CM に出演させていただいた時は、家族の愛を感じるようなストーリーだったんですけど、今回は人の優しさだったり、思いやりだったり、また違った愛の形を感じました。私たちの関係性も絶妙なので、実際に自分も撮影中ドキドキしながら、こんな二人がいたら、こういう思いで過ごすんだろうなと思いました。

——撮影現場で印象に残ったシーンについて教えてください。

【嘉島さん】：みんなでポテトチップスのパーティーをするシーンですね。実は周りのみんなはバスケット部の仲間たちというシチュエーションだったんですけど、自分も学生時代バスケット部だったので、バスケット部という設定でお芝居ができて楽しかったですし、印象に残っています。

【和内さん】：私も同じシーンが印象に残っています。あと、嘉島さんと目が合うシーンがあるんですけど、撮影中もどこで目が合うんだろうとドキドキしていたので、そこは等身大の気持ちで演じられたかなと思います。

——「思いやり」篇という CM タイトルにちなんで、最近思いやりを感じた瞬間は？

【嘉島さん】：昨年アメリカに 2 カ月ぐらい滞在した時、英語が全く話せなかったんですけど、街の人にジェスチャーで「ここに行きたい」といろいろ尋ねたら、気さくに案内してくれて。優しい人が多かったので、人って助け合いなんだなと実感しました。

【和内さん】：私は最近仕事で新しい挑戦をすることがありまして。楽しみもあるけど、不安もあるなと思っていたら、撮影前日の夜、親しい友人が、「寝てるだろうけど…」って、とてもすてきな文章を送ってくれたんです。それを朝起きて見た時、すごく幸せな気持ちになって、人からもらう言葉って、こんなに力になるんだと思いました。

【嘉島さん】：僕もそんなふうになんか人の背中を押せるような人になりたいです。なかなか実生活で人を助けるのって難しいですよね。それでも、この CM をきっかけに、一人でも多くの方に助け合いや、思いやりの心が伝わったらうれしいです。

——今回の CM では、ポテトチップスを食べて幸せを感じる瞬間を「今日も湖池屋。」というキャッチコピーで表現していますが、日常の中で幸せを感じるのはどんな時ですか？

【嘉島さん】：何時間でも寝られる時です。本当に何にもない日って幸せだなと、最近になって思います。あと、バスケットが大好きなので、何も考えずにバスケットの試合を見ている時もすごく幸せを感じます。

【和内さん】：私は食べている瞬間が幸せです。その日がどれだけつらくても、ちょっと嫌なことあって気分が落ち込んでいても、おいしいものを食べると幸せになりますね。普段から SNS で行きたいお店を調べていますが、その時間すらも幸せだなと思います。

【嘉島さん】：何が好きなんですか？

【和内さん】：何でも好きです。餃子とか、ラーメンとか、唐揚げとか。お菓子も好きですし、全ての食べ物が好きです（笑）。

【嘉島さん】：今回の撮影が終わったら、何を食べますか？

【和内さん】：さっきいただいたポテトチップスを、ご褒美に食べたいと思います。

——CM では嘉島さんが助けたおばあちゃんから、お礼にポテトチップスをもらうシーンがありましたが、今一番欲しいもの、もらってうれしいものがありましたらお聞かせください。

【嘉島さん】：欲しいというより、欲しかったもので言うと、身長が欲しかったですね。今 175cm なんですけど、お仕事させてもらって、180cm ぐらいある方が多くて、いいなあ。バスケット部の時も身長が高かったら、もっといろんなことができるのになと思っていました。

【和内さん】：私は今回のストーリーとちょっと似ていて、ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんと月に 1 回、お買い物に行くのが恒例なんです。その日の朝、母と迎えに行くと、朝ごはん食べてないでしょうって、おやつとか朝ごはんを用意してくれるんですけど、それがすごくうれしくて。気持ちのこもったおいしいごはんとか、おやつって、こんなに幸せな気持ちになるんだと思いました。

——「湖池屋ポテトチップス」について、好きな味や食べるシチュエーションを教えてください。

【嘉島さん】：「のり塩」が大好きです。お酒のおつまみで食べると、のりってすごく合うんですよ。

【和内さん】：私も「のり塩」が好きだったんですけど、最近は「ガーリック」や「のり醤油」もお気に入りです。私の家では誰かが遊びに来ると、ポテトチップスを何袋かいろんな種類を開けて食べるのが定番なんです。そこで「のり塩」もおいしいけど、違う味もおいしいなと思い始めました。

【嘉島さん】：よく家族でパーティーしているんですか？

【和内さん】：はい、お菓子パーティーをしています。今回の CM みたいに、「それ食べたい」って交換したりしています。

永尾柚乃さん、平泉成さん、藤澤恵麻さん、インタビュー

——撮影の感想や CM の見どころをお聞かせください。

【永尾さん】：CM の見どころはおじいちゃんたちのおうちに行って、ポテトチップスを食べるところです。ほっこりとしたお話なので、ぜひポテトチップスを食べながら見ていただきたいです。

【藤澤さん】：柚乃ちゃんは 1 年前に共演した時からしっかりしたお嬢さんだと思っていたのですが、今回ひと回り大きくなって、よりしっかりしてみんなをいつも笑顔で盛り上げてくれました。天真らんまんさはそのままに成長されていて、本当にすてきなと感心しています。

——印象に残ったシーンを教えてください。

【永尾さん】：平泉さんと一緒にポテトチップスをパリッと食べたシーンはすごく印象に残っています。

【平泉さん】：たくさん食べましたね。柚乃ちゃんとは初共演ですが、「よろしく願います」というごあいさつの仕方が、僕らじゃあとてもまねできないくらいキチンとしていてね。テレビを見ながら、頭のいい子だなあ、おしゃべりもすごく上手な子だと思っていたので、「どうしたらあなたのようにお上手にしゃべりができるようになるの?」と聞いてみたいと思って。なかなかそんな時間もなかったですけど、忘れられない CM になりました。

——平泉さんと永尾柚乃さんは初共演ですが、お互いの印象を教えてください。

【永尾さん】：すごく優しく、私がしゃべるとニコニコしてくれる優しい人ですね。

【平泉さん】：柚乃ちゃんが外から家に入ってきて靴を脱ぐシーンで、誰か人に言われなくても、何度も自分で自主トレをしていたんですよ。いや、すごいなと思って。セリフも「朝になったら覚える」と言っていましたから、努力が柚乃ちゃんをつくってるんだなと思いました。

——そういうことはどなたに教わったんですか？

【永尾さん】：教えられたとかじゃなく、クセが出ちゃったんですよ。

【平泉さん】：クセが出ちゃったんですか。

【永尾さん】：そういうタイプなんです。

【平泉さん】：成さんもそのタイプにあやかりたい。

【永尾さん】：なってるじゃないですか。

【平泉さん】：セリフがなかなか入ってこなくてね。柚乃ちゃんのようにできないんですよ。

【永尾さん】：いつもテレビを見ているんですが、その時はセリフとかうまくやっていますよ。

【平泉さん】：必死に練習して、お風呂でもトイレでも歩いている、何をやってもセリフの勉強を繰り返してやっから、やっと現場へ行ってあれなんです。「朝、目が覚めたら覚える」という、柚乃ちゃんみたいになりたいですね。

【藤澤さん】：私は娘が 2 人いて、柚乃ちゃんよりちょっと小さいんですけど、数年でこんなふうになるかと思うと、全然想像がつかないくらい本当にしっかりされていて。偉いね。

【永尾さん】：ありがとう！

——今回の CM ではポテトチップスを食べて幸せを感じる瞬間を「今日も湖池屋。」というキャッチコピーで表現していますが、日常の中で幸せを感じるのはどんな時ですか？

【平泉さん】：晩ごはんの時、僕は2階の部屋にいますけど、「成さん、ごはんよ！」ってカミさんに呼ばれて階段を下りて、テーブルに着くまでの間、これはまあ、とっても幸せを感じますね。俺は幸せなんだと。それから缶ビールを開けて、カッカカッと飲んで。その時ですかね。

【藤澤さん】：一日を終えて、夜に家族と添い寝する時ですね。両脇に娘たちがいて、今日どんなことがあったとか、そういうお話をしながら眠りにつく時は幸せを感じます。

【永尾さん】：私は毎日、1秒1秒が幸せです。朝起きるのが幸せ、朝ごはん食べるのが幸せ、学校に行けるのが幸せ、勉強できるのが幸せ、中休みが幸せ、給食を食べるのが幸せ、帰れるのが幸せ、寝れるのが幸せ。

【平泉さん】：本当にまあ、あやかりたいね。

——今回のCM撮影でも幸せを感じましたか？

【永尾さん】：はい、めっちゃ幸せを感じました。ポテトチップスを食べられるのが幸せ、CMができるのがすごく幸せという感じです。

【平泉さん】：爪のあかを煎じて飲みたいよ。いい話を聞かせてもらいました。

——「湖池屋ポテトチップス」について、好きな味や食べるシチュエーションを教えてください。

【永尾さん】：私はやっぱり「のり塩」です。学校から帰ってきて、宿題を全部終わらせて、それからテレビをつけて、パリッといて感じですかね。おうちに「のり塩」がいっぱいあります。

【藤澤さん】：私も実は「のり塩」のファンで、娘たちのおやつ時間に、一緒にパリッといただいています。

【平泉さん】：僕も「のり塩」です。「ガーリック」も悪くはないなと思いつつ、やっぱり「のり塩」かな。孫たちが食べている時、「成さん、はい」とくれるのを、パクッと食べるのはおいしいし、幸せです。あとは、夜に子どもたちの分を勝手に取ってきて、ビールを飲みながら、おつまみで食べるのも幸せですね。

【永尾さん】：私は今7歳ですが、1962年に「ポテトチップス」が作られたと聞きました。平泉さんは何歳ぐらいから食べていましたか？

【平泉さん】：子どもができてからかな。子どもに買って来た分をちょっと食べたりしていました。

——CMでは永尾柚乃さんが平泉さんからポテトチップスをもらって喜んでいるシーンがありましたが、今一番欲しいものがありましたらお聞かせください。

【永尾さん】：私はやっぱりポテトチップスですかね。あと、物じゃなくてもよければ、湖池屋さんのポテトチップスを作る工場に行ってみたいです。

【藤澤さん】：私も食いしん坊なので、ポテトチップスもちろんですが、撮影が終わった時にいただく花束がやっぱりとてもうれしいですね。今日はありがとうございました。

【平泉さん】：僕も部屋いっぱいのポテトチップスをもらったらうれしいですね。部屋中ポテトチップスでいっぱいになりたいです。

——永尾柚乃さんにとって人生の大先輩の平泉さんと藤澤さんに聞きたいこと、相談したいことは？

【永尾さん】：平泉さんは今、大人ですから、子どもの時からやっておいた方が良かったなと思うことはありますか？教えてください。

【平泉さん】：勉強。あんまりやってませんでしたから、やっとなら良かったなって。あとは健康な体をつくって、いろんなことにチャレンジして、いろんな経験を積むことをもっとやれていたら良かったかな。全然答えになってないね。

【永尾さん】：全然答えになっています。

【平泉さん】：そうですね。ありがとうございます。

【藤澤さん】：私は一緒に歳を重ねて大人になって、何でも相談できたり、お話できたりするお友達がいると、人生が豊かで楽しいなという気持ちになるので、お友達を大事に、というところですかね。

【永尾さん】：お二人とも、ありがとうございます！

主な出演者のプロフィール

永尾 柚乃 (ながお ゆの)

2016年10月15日生まれ。スペースクラフト・エージェンシー所属。1歳で子役デビュー。ドラマ、映画、CM など幅広く活躍中。趣味は脚本づくり、特技は変なダンス。好きな妖怪は、ベとベとさん。

平泉 成 (ひらいずみ せい)

1944年6月2日生まれ、愛知県岡崎市出身。1964年に大映京都第4期フレッシュフェイスに選ばれ、1966年に「酔いどれ博士」で映画デビュー。以降、映画、テレビドラマ、ナレーターなど幅広く活動。今年6月、芸歴60年にして初の主演映画「明日を綴る写真館」が公開された。

藤澤恵麻 (ふじさわ えま)

1982年12月26日生まれ、香川県高松市出身。大学在学中に、「non-no」(集英社)モデルオーディションでグランプリを受賞、専属モデルとしてモデルデビュー。その後、NHK連続テレビ小説「天花」(2004年)のヒロインに抜擢され、女優デビュー。映画「ラブ★コン」(2006年)など出演作多数。

嘉島陸 (かしま りく)

1998年11月12日生まれ、沖縄県出身。ドラマ「花のち晴れ～花男 Next Season～」(TBS/2018年)で芸能活動を再開。「SUPER RICH」(CX)、「イチケイのカラス」スペシャル(CX)、NHK大河ドラマ「どうする家康」、2024年は映画「明日を綴る写真館」、舞台「熱海殺人事件 モンテカルロイリュージョン」などに出演。

和内璃乃 (わうち りの)

2003年2月21日生まれ。モデル、俳優。神奈川県出身。今夏放送のNetflixシリーズ『恋愛バトルロワイヤル』に出演。

▼MISIAさんプロフィール、楽曲情報

MISIA

歌手



1998年デビュー。「Everything」「アイノカタチ」など数多くのヒット曲を持つ国民的歌手。東京オリンピック開会式では日本国歌「君が代」を独唱。社会貢献活動にも積極的で、長年にわたって国内の子どもたちのサポートやアフリカの子どもたちの教育支援などに従事しており、その功績からアフリカ開発会議の大使などを歴任している。

2023年にデビュー25周年を迎え、大規模な全国ツアーを開催。2024年には台湾・能登の復興支援ライブ「PEACEFUL PARK」にも積極的に参加。新曲「フルール・ドウ・ラ・パシオン」がパリ五輪に向けた日本テレビ系アスリート応援ソングに採用。また9月にはBlue Note JAZZ FESTIVAL in JAPAN 2024への出演、MISIA SOUL JAZZ 2024の開催が決定している。

<楽曲情報>

タイトル：愛をありがとう

作詞：MISIA 作曲：Jhen F, Wei Yi 編曲：Johnny Yim

TVCM 概要

タイトル：湖池屋ポテトチップス「思いやり」篇 (15秒/30秒)
湖池屋ポテトチップス「じいじと孫」篇 (15秒/30秒)

出演：「思いやり」篇 = 嘉島陸、和内璃乃、小池澄子
「じいじと孫」篇 = 永尾柚乃、平泉成、藤澤恵麻、小池澄子

CM 楽曲 : 「愛をありがとう」(MISIA)
 放送開始日 : 2024年9月7日(土)
 放送地域 : 全国(一部エリアを除く)
 CM 本編 URL : 「思いやり」篇 <https://youtu.be/iRgl2SJUqg8>
 「じいじと孫」篇 <https://youtu.be/IQN8Vsht2y0>
 メイキング URL : 「思いやり」篇 その① <https://youtu.be/rZTEuJrHqPo>
 「じいじと孫」篇 その① https://youtu.be/_e7iRKZiWGU
 「思いやり」篇 その②(テロップ有り) <https://youtu.be/QNy8EB5YemU>
 「じいじと孫」篇 その②(テロップ有り) <https://youtu.be/QGgk3uZ1xZY>

スタッフリスト

CD/プランナー	: 中村美香 (PPM)	スタイリスト	: 長谷川綾 (328GK)
プロデューサー	: 三田真奈美 (PPM)		: 重田沙織
PM	: 茂木香織 (PPM)	録音	: 戸部政明 (万永)
AD	: 横山剛 (gravitytrain)	オフライン	: 百束尚浩 (万永)
演出	: 秋山純 (JACO)	オンライン	: 中野裕介
撮影	: 百束尚浩 (万永)	MA	: 望月資泰
	: 中尾圭 (万永)	キャストイング	: 増田恵子 (ギャンビット)
照明	: 北條誠 (ロケット)		: 二見仁菜 (ギャンビット)
美術	: 部谷京子	制作	: 米加田樹 (JACO)
	: 北島裕巳子	スチールカメラマン	: 渡部伸
ヘアメイク	: 佐藤郁江	メイキング	: 山口博樹 (タチワニ)
	: 中山知美		
	: ナカヤスマク		

商品情報

湖池屋ポテトチップスは日本産じゃがいもを 100%使用し、日本で初めて量産化に成功したポテトチップスです。のり塩、じゃがいもと塩、金のコンソメ、ガーリック、のり醤油など、バリエーション豊かな味をお楽しみいただけます。

- | | |
|-----------|--|
| ■ 商品名/内容量 | ・「ポテトチップス のり塩」/60g
・「ポテトチップス じゃがいもと塩」/60g
・「ポテトチップス 金のコンソメ」/60g
・「ポテトチップス ガーリック」/55g
・「ポテトチップス のり醤油」/50g |
| ■ 価格 | オープン価格 |
| ■ 販売先 | 全国・全チャンネル |
| ■ ブランドサイト | https://potatochips.koikeya.co.jp/ |



お問い合わせ先

【本リリースに関するお問い合わせ先】

湖池屋ポテトチップス PR 事務局（電通 PR コンサルティング内）

TV 担当 武藤 TEL : 070-3154-7231 eri.muto@dentsuprc.co.jp

紙・WEB 担当 中江 MAIL : yukino.nakae@dentsuprc.co.jp TEL : 070-5073-2133

【湖池屋商品等に関するお問い合わせ先】

株式会社湖池屋 広報部 担当 : 伊藤 / 小幡

TEL : 080-3582-2708 FAX : 03-6872-2613 E-mail : pr@koike-ya.com

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-17-11 JPR 原宿ビル 8F